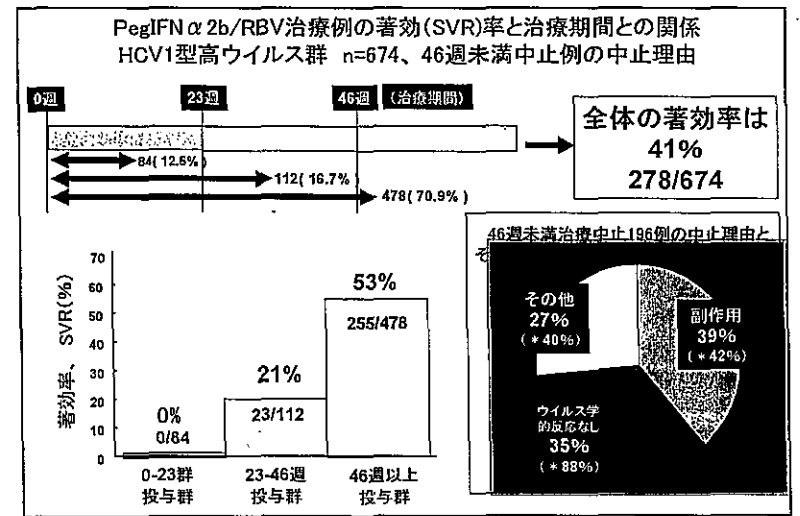
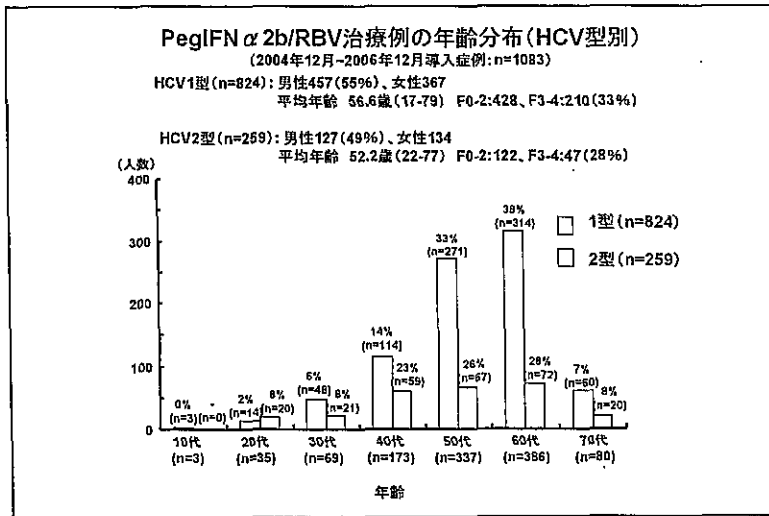
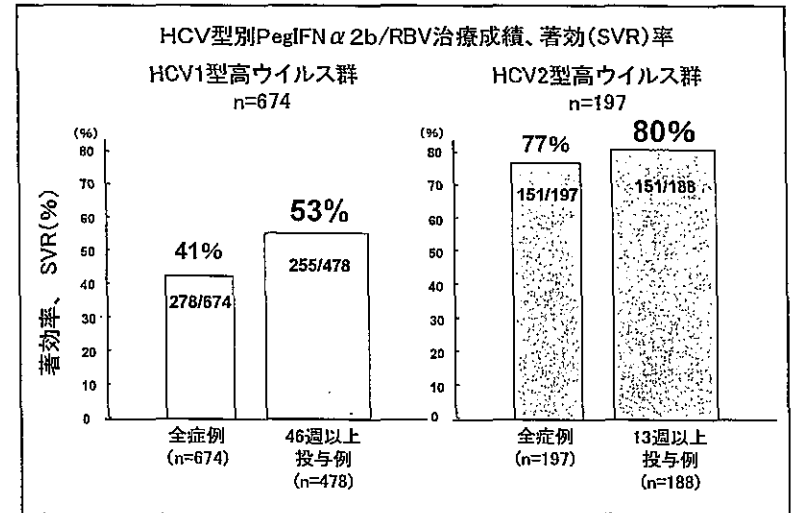


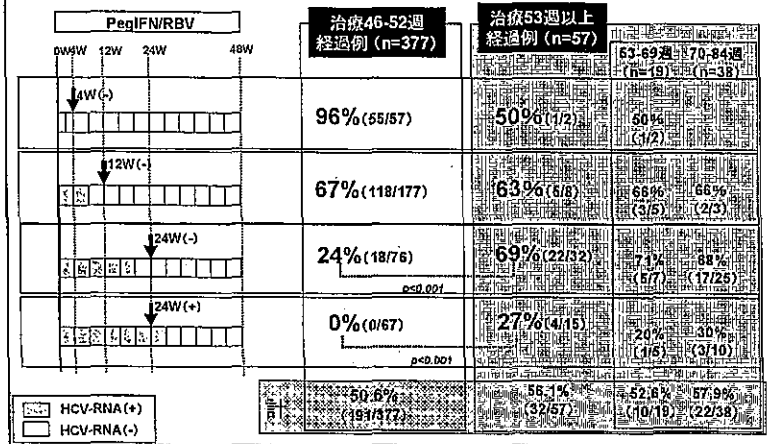
# 72週間延長投与に関する検討

2008年10月20日

国立病院機構  
長崎医療センター  
八橋 弘



血中HCV-RNAの消失時期と著効(SVR)率%(著効症例数/治療症例数)  
肝硬変に対する治療に関する研究班登録症例 HCV1型高ウイルス群での検討



Peg-IFN α 2b/RBV導入674症例中、副作用で治療を中止した76例、92件の副作用内容とその出現時期  
(○内数字記入例は副作用出現重複症例)

項目	23週未満 (n=92)	23週以上46週未満 (n=14)	46週以上70週未満 (n=0)	イベント数	頻度%
倦怠感	○○○○○○○○○②④⑤⑦⑧⑨	○○○○		20	22
精神症状 (うつ、不安、いらいら感等)	○○○○○○○○○○○②④⑤⑦⑧⑨	○○		19	21
皮疹	○○○○○○○○○○○○○			13	14
消化器症状 (腹痛、食欲不振等)	○○○①②③④	⑤⑥		9	10
神経症状 (てんかん、しびれ、意識消失等)	○○①	○○②		6	7
血球減少 (白血、好中球減少等)	○○○○③	○		7	8
肝障害 (AST/ALT値等)	○○			2	2
感染症 (肺炎、肝臓病)	○○			2	2
間質性肺炎		○		1	1
眼病変 (眼痛、視力障害等)	○○○○	○		5	5
腱力低下	④			1	1
甲状腺機能障害	○⑤			2	2
体重減少	⑥	⑦		2	2
脱毛	⑧⑨	○		3	3
イベント数	76	16	0	92	100
頻度%	83	17	0	100	

HCV1型高ウイルス群、Peg-IFN α 2b/RBV治療をおこない治療1,3,6ヶ月目のHCV-RNAの消失状態を確認した538例での著効(SVR)に関連する因子のデータマイニング解析(決定木)

